

感染症情報 11月5日～11日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

| | | |
|------------|----------|------|
| ①感染性胃腸炎 | 1042例(堺市 | 37例) |
| ②溶連菌感染症 | 492例(堺市 | 69例) |
| ③咽頭結膜熱 | 126例(堺市 | 8例) |
| ④RSウイルス感染症 | 107例(堺市 | 7例) |
| ⑤手足口病 | 99例(堺市 | 7例) |

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

| | | |
|---------|---------|------|
| インフルエンザ | 182例(堺市 | 42例) |
|---------|---------|------|

が報告された。

感染症報告数は前週比16.8%増の2,152件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比26%増、堺市で前週比24%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より41%増、堺市で前週58例→69例は19%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週より17%増、堺市で6例→8例であった。RSウイルス感染症は府下で前週より31%減、堺市で10例→7例であった。手足口病が府下で前週より16%減、堺市では前週、今回とも7例であった。

インフルエンザは府下で前週106例→今回182例であった(72%増、定点当たりの報告数は0.6)。堺市では前週12例→今回42例と急増している(250%増、定点当たり1.4、大阪府ブロック区別で一番多い)。

麻疹の報告はなかった。風疹が府下で前週10例→今回15例あった(堺市は2例報告あり)。